

「COVID-19 下における大会運営マニュアル」

(2022 年 7 月 18 日基準)

本マニュアルは、一般社団法人関東大学バスケットボール連盟（以下、本連盟）主催大会用です。今後の新型コロナウイルス感染症（以下、COVID - 19）拡大状況および社会情勢等を踏まえ内容が変更になる場合があります。

本連盟は大会を安全に実施する上で、以下の項目を出場大学や来場される方々に周知徹底致します（なお本連盟で利用するフローを巻末に付記するので、そちらも参照すること）。

また、本マニュアルに記載の事項を違反した「チーム」に対しては、対策責任書である理事長が始末書の提出を求める。

【新型コロナウイルス感染症（COVID - 19）対策チーム（以下、対策チーム）】

① 構成

◆理事長（対策責任者）、副理事長、総務部長、医科学部長、**医科学副部長**、競技部長、審判副部長、広報部長、全学生役員

② 役割

◆COVID - 19 対策全般

・「新型コロナウイルス感染症対策チーム責任者」（以下、チーム責任者）からの、COVID - 19 に関わる相談への対応。

◆大会継続可否の**検討**

- ・国、都県、地方自治体、厚生労働省、文部科学省、国立感染症研究所、スポーツ庁、日本スポーツ協会、日本スポーツ振興センター、日本オリンピック協会、大学スポーツ協会、各大学等から新たな情報・方針・指針等が出された場合。
- ・参加者に COVID-19 確定者または濃厚接触者が出た場合。
- ・市中感染が急速に拡大した場合。

◆監督会議開催

・1～5 部監督会議を**必要時**開催し、部長、監督又はコーチ（大人）にマニュアル遵守指導。

【相談・報告・大会出場可否判断】

① 相談（任意）

・チーム関係者に新型コロナウイルス感染症を考慮する体調不良者が発生した場合は、医療機関を受診することが望ましいが、相談窓口を対策チーム内に設置する。

② 報告（義務）

- ・ チーム関係者に COVID-19 確定者および濃厚接触者が発生した場合、本連盟へ報告する。**なお、大会開催中に体調不良者が発生した場合も本連盟へ報告すること。**
- ・ 本連盟への報告は、大学事務局に本連盟へ報告する旨の承諾を得たのちにおこなう。本連盟への報告が大学のリリースより遅れても問題はないが、リリース後でも必ず報告する。なお報告書は連絡を受けた学生役員が本連盟指定の報告書に記入し、医科学部長の確認後「対策チーム」に共有する。
- ・ 大学内でチーム関係者以外（他クラブ等）に COVID-19 確定者が発生したことでチームが活動停止となった場合、大学の承諾が得られた時点で本連盟に状況報告をする。
- ・ 本連盟に報告された内容は、エビデンスとして連盟内に保管する。
- ・ 発生事案は集計後、匿名の上、一部内容に関して注意喚起**や情報共有**を目的に連盟所属の全チームに展開する場合がある。
- ・ COVID-19 確定者に対しては、原則的に段階的復帰を推奨する。

③ 大会出場可否の判断

- ・ 大会前および大会中に COVID-19 確定者が発生したチームは、大会出場について大学および保健所の判断を本連盟に報告する。
- ・ 「対策チーム」は、大学および保健所の判断を踏まえた上で、当該チームの大会出場可否を決定する。
- ・ 具体的大会出場可否の判断基準の目安に関しては**下記の通り**。

◆ COVID-19 確定者および濃厚接触者発生時における大会開催継続判断について

大会期間中においては原則的に以下の基本方針をもとにチーム活動中止（すなわち棄権）を判断し、棄権チーム数を考慮し、対策チームで大会開催継続を判断し決定する。

なお本項記載の「選手もしくはスタッフ」はベンチ入り登録者を意味する。

1. 選手もしくはスタッフに COVID-19 確定者・濃厚接触者が発生した場合

- ・ 当該「確定者」である選手もしくはスタッフが、発症した 48 時間前まで遡ってチーム活動に参加していた場合には、チーム内濃厚接触者が確定するまで当該チームの活動は中止とする。
- ・ 当該「濃厚接触者」である選手もしくはスタッフが、発症した 48 時間前まで遡ってチーム活動に参加していた場合には、当該チームの活動を 48 時間中止とする。
- ・ 確定者および濃厚接触者を除く「選手」が 5 人以上いる場合には試合の出場を認めるが、棄権に関しては各大学の自由意志を尊重する。
- ・ 棄権大学の該当試合は不戦敗・不戦勝として扱い大会自体は継続する。
- ・ コーチ証を保持するスタッフが不在となった場合においても試合の出場を認める。

（JBA コーチ資格保有者が不在になった場合の対応参照：

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach_licenseStandard_info01_20170401.pdf

- ・孤発性に複数の大学で感染者を認めた場合には大会自体は継続する。
- ・「対戦大学への感染伝播が疑われた場合」には、大会中止も検討する。

2. 大会運営スタッフに COVID-19 確定者・濃厚接触者が発生した場合

- ・各大学選手もしくはスタッフに濃厚接触者を認めた場合には 1. に準ずる。
- ・大会運営継続困難な大会運営スタッフ人数となった場合には大会中止を検討する

3. 審判に COVID-19 確定者・濃厚接触者が発生した場合

- ・各大学選手もしくはスタッフに濃厚接触者を認めた場合には 1. に準ずる。
- ・大会運営スタッフに濃厚接触者を認めた場合には 2. に準ずる。
- ・代替審判(ライセンス種類は問わず)が確保できれば試合を開催するが日時変更はあり得る。

4. 報道関係者・協賛企業関係者に COVID-19 確定者・濃厚接触者が発生した場合

- ・各大学選手もしくはスタッフに濃厚接触者を認めた場合には 1. に準ずる。
- ・大会運営スタッフに濃厚接触者を認めた場合には 2. に準ずる。
- ・審判に濃厚接触者を認めた場合には 3. に準ずる。

5. 観客に COVID-19 確定者・濃厚接触者が発生した場合

- ・各大学選手もしくはスタッフに濃厚接触者を認めた場合には 1. に準ずる。
- ・大会運営スタッフに濃厚接触者を認めた場合には 2. に準ずる。
- ・審判に濃厚接触者を認めた場合には 3. に準ずる。

6. その他

- 上記内容に加え、COVID-19 感染拡大状況、保健所や行政、公益財団法人日本バスケットボール協会、各大学および各会場体育館側からの要請・要望に応じて適宜大会開催継続を判断する。
- 自大学内に COVID-19 を否定できない症状のある選手もしくはスタッフが生じた場合
 - ・図 3 に準じた対応とする。
 - ・当日来場時に体調不良者に該当した選手もしくはスタッフを認めた場合には接触状況やワクチン接種状況、また流行状況を総合的に判断し、対策チームよりチーム活動の中止を勧告する場合がある。
- 敗退大学内に COVID-19 を否定できない症状のある選手もしくはスタッフが生じた

場合

・図3に準じた上で、以下の対応とする。

- I. 当該者が COVID-19 確定者となり、発症 48 時間前まで遡って当該者所属大学と対戦し、かつ当該者が試合に出場していた場合、出場時間や接触状況を総合的に判断し対策チームよりチーム活動の中止を勧告する場合がある。
- II. 当該者が COVID-19 確定者となり、発症 48 時間前まで遡って当該者所属大学と対戦しているが、当該者自身は試合には一切出場していない場合、チーム活動は中止としない。ただし、その後当該者所属大学の試合出場選手が COVID-19 確定者となった場合、出場時間や接触状況を総合的に判断し対策チームよりチーム活動の中止を勧告する場合がある。
- III. 当該者が PCR ないし等温核酸増幅法による検査で「陰性」の確認が取れた場合は、チーム活動は継続とする。
- IV. 当該者の PCR ないし等温核酸増幅法による検査結果が不明であり、発症 48 時間前まで遡って当該者所属大学と対戦していた場合、接触状況やワクチン接種状況、また流行状況を総合的に判断し、対策チームよりチーム活動の中止を勧告する場合がある。

【大会運営】

① 当日の入場者

「運営スタッフ」	本連盟理事、学生役員
「来賓」	本連盟名誉顧問・顧問・参与・監事・連盟 OBOG、その他関係者 協賛企業関係者 (渉外部承認者)
「チーム」	スタッフ証保有者、選手証保有者、スカウティング、 チーム撮影委託者
「審判」	審判員 (審判部依頼者) (審査会審査委員, インストラクター含む)
「報道」	1社2名以内 (広報部承認者)
「テレビ」	各社必要数 (広報部承認者)
「チーム券入場者」	チーム券購入者
「一般入場者」	チーム券以外の入場券購入者

※自チーム以外の観戦の可否、および入場制限の有無に関しては、感染拡大状況と大会様式を考慮し大会毎・会場毎に検討する。

② 事前確認・報告

◆「対策チーム」

- ・ 審判、報道、テレビ、協賛企業等の来場者は当日受付で確認する。なお、入場制限を設ける場合には事前に来場予定者の名簿を事前に作成する。

◆「運営スタッフ」

- ・ 大会初日 1 週間前から大会最終日まで毎日検温（記録）し、要請に応じ対策チームに提出する。
- ・ 運営スタッフ割当表（総務部作成）に従って参加し、割当日以外の参加は総務部の事前承認を要する。

◆「来賓」「報道」「テレビ」「一般入場者」

- ・ 各自、1 週間分の「行動記録」・体温および自覚症状の有無を記録し必要時提出する。

◆「チーム」

- ・ 各チームは「感染対策責任者」を設置する。
なお感染対策責任者 1 名と感染対策責任者不在時の「責任者代理」2 名を置く。
- ・ 各チームは適切な感染症対策（別紙新型コロナウイルス感染症概要を参照）を講じた上で、以下をおこなう。特にプレー中および一部のアップ中以外での常時マスク(原則不織布)着用と手指衛生を徹底すること。
- ・ 手指消毒等に使用する消毒ボトル及び消毒液は各チームで用意すること。
- ・ 各チームスタッフおよび選手は、各自「行動記録」を作成し必要時提出すること。
- ・ 各チームスタッフおよび選手は、毎日の体温と自覚症状の有無をチーム責任者に報告する。報告内容は最低でも以下 1~5 の事項が網羅されていれば方法を問わない。
 - 1 体温
 - 2 倦怠感の有無
 - 3 咳の有無
 - 4 喉の違和感や痛み
 - 5 味覚・嗅覚の異常
- ・ 感染対策責任者は、チームスタッフおよび選手全員の報告を集計し保管する。
- ・ 感染対策責任者は、Excel のフォーマットで大会を通してチーム全員の名前・電話番号・住所が記載された名簿をメールにて「対策チーム」に提出する。
- ・ 感染対策責任者は、当該チームの初戦日前日 12:00 までに、チーム全員の体調が 1 週間で問題無かったことを示す健康証明を Google フォームにて「対策チーム」に提出する。
- ・ 感染対策責任者は、試合開始 3 時間前までに、チーム全員の体調が当日問題無いことを示す健康証明（同一大会 2 試合目以降に関しては、前回試合終了から当日までの健康証明）を Google フォームにて「対策チーム」に提出する。

◆「審判」

- ・全員が各自「行動記録」と、毎日の体温と自覚症状の有無を記録し保管する。
- ・来場日の前日 12:00 までに、体調が 2 週間で問題無かったことを示す健康証明を Google フォームにて審判部に提出する。
- ・「審判用・健康チェックシートの提出について」および「主催大会へのご協力のお願いと新型コロナウイルス感染症における対応について」の 2 つの文書より審判部独自の感染対策を促す。

◆「チーム券入場者」

- ・各自、1 週間分の「行動記録」・体温および自覚症状の有無を記録し必要時提出する。
- ・チーム券の精算は、大会終了後に振り込みで実施する。
- ・請求料金の把握の為、例年通り受付に各大学のブースを設置して、購入者リストの作成および提出を求める。

③ 会場内運用

< 共通項目 >

全ての場面で共通することは以下である。

- ・タオルやドリンクボトルの共有を避ける
- ・手指衛生を徹底する
- ・3 密を避ける
- ・可能な限りソーシャル・ディスタンスを確保する
- ・アップおよび試合中の一部を除き、全員マスク(原則不織布)着用を徹底する
- ・少しでも何らかの症状があれば無理をしない、させない

◆動線・運用

- ・出入口は原則一方通行もしくは入退館が同時にならないように配慮する。
- ・ベンチ登録がなされている「チーム」の選手・スタッフと、それ以外の全ての者とが濃厚接触者とならないように配慮する。

◆手指衛生

- ・会場出入口、観客席、トイレ等適所に必要に応じて消毒用アルコールやペーパータオル等を設置する。

◆マスク着用

- ・館内では不織布マスクの着用を徹底(破損時には連盟から提供する場合もある)

◆観戦ルール(全員共通)

- ・インターバル、ハーフタイム、試合間等に「観戦ルール」遵守のお願いを適時放送。
- ・観戦する際は「観戦ルール」を厳守した上で自己責任で適切な感染対策を行う。
入場人数に関しては政府・都道府県および当該会場の運用方針に則る
常時マスク着用

- 飲料のみ可、食事は不可
- ベンチ登録者との接触禁止
- 応援目的以外の過度な声出し禁止

◆控室

- ・使用者各自が密にならないよう配慮する。

◆更衣室

- ・試合前後に更衣室を使用する際は当該会場の使用規則および学連役員の指示等に従う。
- ・「チーム」「審判」の使用可能時間は、大会及び会場毎の規定に従う。
- ・感染対策責任者および審判は、更衣室内が密にならないよう配慮する。
- ・更衣中もマスクを着用する。

◆アップ場

- ・「チーム」「審判」のアップ場および時間は、運営スタッフの指示に従う。
- ・アップ中の選手および審判は可能な範囲でマスク着用を行うこと。

◆ベンチ

- ・原則的に前後2列を可とし、座席間隔1m以上を確保する。
- ・原則ベンチ後方またはエンドライン側に交代選手のクールダウンエリアを設置する。

◆本部席・テーブルオフィシャル(TO)・フロアワイパー(FW)

- ・必要に応じてフェイスシールド・手袋・手指衛生および環境消毒用のアルコール・ペーパータオル等を設置する。

<座席に関して>

共通事項として、1度座ったエリアからの移動を原則的に禁止とする。

人数制限を伴う有観客試合、無観客開催時には適宜運用を変更する。

◆大学応援席・チーム券入場者席

- ・専用エリアを設置し、自チームの試合開始20分前から入場可とする。
- ・原則完全入れ替え制とする(感染拡大状況と大会様式を考慮し大会毎に検討する)。
- ・チーム券入場者が自チーム以外の試合を観戦する場合は「一般入場者」に準ずる。

◆スカウティング・企業関係者・連盟関係者(来賓席)

- ・専用エリアを設置する。

◆メディア関係者

- ・フロアレベルにコートから可能な限り距離を取ってプレス席を設置する。
- ・カメラエリアは通常より広く取り、ゴール両側に設置する

④ 入場～試合開始前

◆試合間隔

- ・原則2時間

◆入場時間

- ・「チーム」の会場入りおよびアップ場入場は定められたタイムスケジュールに従う。
※当日エントリーは、全試合トスアップ 30 分前までとする。
- ・「審判」は、当該試合開始 2 時間前からとする。
※審査会等を行う際は例外とする。
- ・TO、FW は、当該試合開始 30 分前からとする。
- ・「チーム券入場者」「一般入場者」は、第 1 試合開始 1 時間前からとする。
※会場により変更となる可能性あり。
- ・スカウティングは学生・学生以外のスタッフ（監督・ヘッドコーチなど）それぞれ 1 コート当たり 2 名/チームまで第 1 試合開始 1 時間前から、当日全試合の入場を認める。
※当日、所属チームの試合が無い会場でも同様の対応とする。
- ・「チーム」の荷物は常にそれぞれが持ち運ぶこととする。

◆入(退)館管理

- ・受付担当の運営スタッフは、マスクを着用する。
- ・パーテーションを設置する。
- ・来場者のマスク着用の確認と検温の実施をする。
- ・検温結果 37.5℃以上は 3 分間安静後再検温し、再検温も 37.5℃以上は入場不可とする。
- ・「チーム」は、定められた入退管理（QR コードおよびリスト突合等）を実施する。
- ・感染対策責任者は、事前に提出済みのチーム全員の名前・電話番号・住所が記載された紙媒体の名簿にし、当日会場に来たメンバーの名前をリスト化して提出する。
- ・「審判」は、参加者名簿（事前申請者名簿）と照合する。
- ・「チーム券入場者」「一般入場者」は、チケットの裏に記載されている個人情報記入欄で個人情報を回答する。
※収集した個人情報は、本連盟で当該大会終了後 2 週間保管し、その後破棄する。
- ・受付にて観戦ルールを配布する。
- ・「チーム券入場者」「一般入場者」の再入場は可とする。
※会場によって再入場の可否を判断する。また、再入場の際は再入場券を携帯して会場の外に出ることとする。

◆コート入場

- ・運営スタッフの指示に従うこと(第 2 試合以降は学連役員の指示があるまではアップ場で待機)。

④ 試合中

- ・コート上の選手、審判およびクールダウンエリアの選手以外は全員マスクを着用する。
- ・クールダウンエリアでの声出し禁止
- ・不要な密集、抱擁、握手およびハイタッチ等を禁止とする。

- ・ボトルシート、コンディショニングスタッフのビブスは各チームで用意する。
- ・審判はホイッスルカバー、レフリーマスクの着用を義務とする。
- ・TOはマスクに加えフェイスシールドを着用する。

◆手指衛生

- ・選手交代、タイムアウト、インターバル、ハーフタイム時は手指消毒を実施する。
- ・マネージャー、トレーナー等が他者と接触した場合は、速やかに手指消毒を実施する。
- ・手袋装着時にも手指消毒を実施する。
- ・手指消毒等に使用する消毒ボトル及び消毒液は各チームで用意すること。

⑤ 試合後

- ・対戦チームとの必要以上の接触は控える。
- ・試合に関わった者は全員手指消毒を徹底する。
- ・必要に応じて、運営スタッフの指示に従い自チームが使用したベンチを消毒する。
- ・TO・FWは、必要に応じて運営スタッフの指示に従いTO席およびFW席を消毒する。
- ・試合後ミーティングは、マスク着用を必須とし、密にならない場所で行う。
- ・ダウンは、指定のダウン場で実施する。
- ・「チーム」および「審判」は当該試合終了後の館内滞在に関しては大会毎かつ会場毎に検討する（TO/FWおよびスカウティングは、例外）。

⑦その他

- ・表彰式のメディアの写真撮影の際は、マスクを外すことを可とする。
- ・SNSへの投稿含む集合写真の撮影は、自己責任で行うこととする。
なお投稿や発言等によるトラブルについては、連盟は一切の責任を負わないため、くれぐれも注意すること。
- ・取材は、原則パーテーションを使用したMIXゾーン方式とし、勝利チームから行う。なお、対象チームが退場してから15分間を上限とする。
なお、取材対象者は写真撮影時にも原則的にマスクを着用すること。
- ・会場外での滞留およびチーム関係者以外との接触を禁止する。